

虹の大樹

JAさっぽろコミュニケーションマガジン
「にじのたいじゅ」

2023年
11月号
NO.302

協同組合という
虹のもと、
大都市に深く
根を張りそびえる
大樹のような
JAで
ありたい——

今月の特集

『養生訓』に学ぶ
漢方で心の養生



下仁田ネギの初収穫
Photo by SOGA Takahiro



リスク分散と 新たな挑戦 夫婦二人で 持続可能な農業を。

直売所出荷者協議会会長 遊佐宏文さん

「『とれのさと』や『とれたてっこ』を通じて札幌や石狩の野菜を多くの方に知っていただいて、食べてもらえたら嬉しいですね。」直売所出荷者協議会会長として、そう語ってくれた遊佐宏文さんは就農8年目にして驚くほど多種類の野菜を生産する。そのアイデアとバイタリテイの源を取材した。

調べ、学び、実践 挑戦は力なり

石狩市花畔地区にある「ユウサン・ファーム」。「地物市場とれのさと」の近く、周辺に住宅が立ち並ぶ中でも自然を維持してきたこの地区に遊佐さんを訪ねると、長さ100メートルはありそうな大きなビニールハウスが目に見え込んできた。

笑顔で迎え入れてくれた遊佐さんは、長年陸上自衛官として勤務し退官後、平成27年ここに花畔で新規就農した。取材時はちょうど下仁田ネギの収穫を控えた頃。昨年、本場群馬県へ単身研修に行き生産方法を学び、今年初めて栽培に取り組んだ。「毎年新しい何かに挑戦することが私の目標。自ら考えて、調べて、学んで、実践して、失敗して、また考えての繰り返し。本場の下仁田ネギにはまだまだかないませんが、是非一度手に

取ってもらいたいです。」

リスク分散と 生産性の向上

そんな遊佐さんは現在、約50種類の野菜を生産する。入口から向こう端が見えないくらい長いハウスで、夏季はミニトマト、パプリカ、こどもピーマン、冬季はレタス、ケール、茎ブロッコリー、ターサイ、露地では白かぶ、トウモロコシ、山ワサビなどを生産。「これまで8年間、気候変動の影響を受けつつも、リスク分散が功を奏して農業を続けられています。」

生産性向上にもこだわっている。例えば、自ら調べて知った「省耕起栽培」の実践。これは、ハウス内の圃場を耕す回数を減らす栽培方法で、気温の低い冬季の作物成長期間の短縮に大いに役立つのだそう。北海道大学の元教授から学び実践している。ほかに、アブラナ科の作物を収



5



1



6



3



2



7



4

1.9カ月かけて育てた下仁田ネギを丁寧に収穫。2.ハウス栽培のトレビス。当初は栽培適期が分からず出荷までに4年が経過。3.ミニトマトの連作障害を回避するために混植しているニラは周年収穫。4.地物市場とれのさと。5.ハウス内でピーツの後作に植えたロメインレタス。6.本場下仁田の直売所で販売されていたラッピングを思い出しながら袋詰め。7.壁に出荷者の写真が並ぶ「とれのさと」の店内

夫婦二人で農業を続ける

穫した後にキク科の作物を植えて連作障害の防止と効率的な栽培の両立を図り、一度収穫した後でも再び育ち繰り返し収穫可能な再生野菜の栽培を行うなど、多くの事に取り組む。また、ハウスの外を防虫ネットで覆い防除回数を減らして低農薬栽培を心がけるといったアイデアも自ら生み出している。

野菜作りに心血を注ぐ遊佐さんに夢を聞いた。「一年中、地元の野菜を皆さんに提供する事で、この地域の役に立てればと思っています。人を雇わず妻と二人で通年野菜を出荷する為に少しでも効率的な栽培方法を模索しています。夏季と冬季の収益と毎月の売上高が一定になる野菜を二人で作り続ける夢を叶えるために挑戦を続けます。その前に身体の痛みとの相談がありますけど(笑)」

隣の作業場では奥様が「とれのさと」に出荷する野菜を梱包していた。遊佐さんが農業を始めたことに不安はなかったのか尋ねてみると、「反対する気持

ちは勿論あったけれど、綺麗な野菜が収穫できた時の喜びや様々な人たちが手に取ってくれた時の嬉しさ、夫婦と一緒に仕事ができる事の楽しさは代えがたいです。体を使うからご飯が美味しいし(笑)」と幸せそうに苦笑いしながら答えてくれた。「取材ではいつも、『農業は楽しくないけど面白い』と答えます。自然は必ずしも味方してくれないから、ただ一生懸命やるだけでは報われない。妻には迷惑かけてばかりで申し訳ないし、効率的なやり方を教えてくれる誰かがいる訳でもないの自分で考えるしかない。ただこれが面白い。色々調べて学ぶと、様々な事に挑戦したくなつて、試したことがうまくなったから去年の悔しさが今年の喜びに変わる。そしてできた野菜を美味しいと皆さんが食べてくれる。お互いにWIN-WINになれる農業は面白いですね。」

持続可能な二人の農業——これからの日本にマッチする「農業のカタチ」の一つではないだろうか。遊佐さんご夫妻の未来に注目していきたい。

『養生訓』に学ぶ

漢方で心の養生

漢方には、人間本来の健康を体現するための知恵が詰まっています。「元気で長生き」のためには、精神（メンタル）と血の全身循環の両方の役割を担う「心」の養生が最も大切だとされています。

取材協力：薬日本堂
<https://www.nihondo.co.jp/>

監修：鈴木養平（すずき ようへい）

日本漢方養生学協会理事長、薬剤師。薬日本堂漢方スクールの講師としてセミナーや講演活動を行なう一方で、雑誌・本の監修、企業の商品開発に携わる。著書に『わがまま養生訓』（フォレスト出版）

イラスト：小林裕美子

第1章 食生活で養生

五味を意識して食材を選ぼう

食事は一つの味に偏ることなく、五味（酸、苦、甘、辛、塩気）をバランス良く少しずつ食べることが大切です。

◆「苦味」は体内の熱を冷ます

中でも「苦味」には体内の熱を冷まし、解毒して外に出す働きがあります。発熱やのぼせ、便秘にも有効です。

（代表的な食材／セロリ、ピーマン、緑茶、シユンギク、ギンナンなど）

◆心の乱れには「赤い食材」

心には精神や意識のコントロールと、血を全身に送るポンプの役割があります。心が乱れて緊張や不安が強くと、落ち着かないときは「赤い食材」で血を補います。

（代表的な食材／ナツメ、クコの実、ニンジン、赤身の肉、レバーなど）

◆寒い冬には「黒い食材」

冬は寒さによって腎臓の働きが低下するので、それを補うために「黒い食材」を積極的に取り入れます。

（代表的な食材／黒ゴマ、黒キクラゲ、黒豆、黒米、シイタケ、黒糖、ヒジキなど）

◆体を内側から温めよう

スープや鍋物で体を内側から温めるのも効果的です。牛肉、豚肉、鶏肉、エビ、タマネギ、ニラ、カボチャ、クルミといった食材を積極的に取ると良いでしょう。レーズンなどのドライフルーツやナッツ類など、種や実の食べ物も体を潤してくれます。

貝原益軒と『養生訓』

人生50年だった江戸時代、

儒学者で本草学（現代の医薬学）の権威でもあった貝原益軒は、

85歳まで現役で元気に過ごしました。「どうすれば一生健康で長生きできるのか」について、自身の体験と知識をまとめた『養生訓』は当時の大ベストセラーでした。漢方の考え方にも通じる内容のこの本は、今でも多くの人に読み継がれ実践されています。



◆しっかりとよくかんで食べる

食事をするときにはしっかりとよくかんで唾液を出すことが大切です。唾液には消化酵素やホルモンが含まれており、消化や味覚を助けるだけでなく、殺菌効果や老化予防の働きもあります。唾液はダイエットにもつながります。アミラーゼという酵素の一つが栄養の吸収、分解、燃焼、排せつなどをスムーズに進める触媒の役目を果たすのですが、よくかむことでその分泌が促進され、糖質（炭水化物）を分解してくれるのです。食事と十分なそしゃくはセットだと考えてください。決して早食いはせず、ひと口30回、しっかりと飲んで食べましょう。



第2章 日常生活で養生

朝を大切にし、日々の変化を楽しもう

体は睡眠中にリセットされるため、寝ることも大事な養生です。睡眠の質が良いと自律神経やホルモンバランスが整い、肌の調子も良くなります。睡眠の質を高めるためには、時間に余裕を持って食事をする必要があります。夕食後すぐに寝ると消化に負担がかかります。夜ぐっすり眠るためにも、昼はしっかり活動することが大切です。できるだけ昼寝はしないこと。眠り過ぎると生気がみなぎらなくなるからです。そもそも養生において、睡眠欲は抑えるべき要素の一つです。昼と夜のメリハリをつけて、質の良い睡眠を心がけましょう。そして、起床したらすぐに窓を開けて深呼吸し、一日のエネルギーを蓄えることをお勧めします。

一方、心の養生には「人生を楽しむ」という行為や感情も挙げられます。これには特別なこととは何もありません。本を読み、歌を歌い、香りを楽しみ、自然の景色を眺め、月や花を觀賞し、植物を慈しみ、季節の移ろいを味わい、庭で取れた野菜を煮て食す。これらは全て心を楽しませ、養う助けになります。

私たちの国には、四季折々の楽しみや日々の変化があります。身の周りの小さなことにも興味を持って年を重ねていけば、楽しく長生きできるでしょう。

第3章 体を動かして養生

毎日続ければ気が巡り、病の予防にも

漢方の体操療法に「導引法」というものがあります。導引とは深呼吸とセルフマッサージを組み合わせたもので、氣の流れを活発にして健康的な体をつくる働きがあります。ここでは、基本の導引の中から全身・頭・足の動作を紹介しましょう。貝原益軒の『養生訓』には、「早朝に起床した後、一方の手で足の五指を握り、もう一方の手で足裏の中心部をしっかりとさする。こうして足の裏が熱くなれば、両手で足の指を動かす」とも書かれています。

ここでのポイントは、早朝に行なうことにあります。「まだ暗いうちに起きて座ってこのケアをする」と、のぼせを下ろし、弱い足を強くし、立ちにくい足も直す。古来からのセルフケア法で、長年続ければ効果が表れる」と、益軒は述べています。とかく現代人は首から上（目や耳）が忙しく、その下の体は疲弊しています。『養生訓』の中に足をほぐすケアがいくつか出てくるのは、首から上を刺激する「反射区」というつぼが足先に多く集中しているからです。また益軒は「食後は体を動かすように」と言及し、「静かに200〜300歩ほど歩いて、体を動かすように」とあります。食後すぐにパソコンに向かったり、テレビの前に座りつ放しになるのではなく、家の周りを軽くウォーキングするなど、少しでも体を動かすように意識しましょう。

頭の体操

1



両手を組む。

2



組んだ両手を左に引き、頭は右に回す。

3



組んだ両手を右に引き、頭は左に回す。これを3回行なう

体の体操

1



起き上がる前に、布団の中で両足をぐーっと伸ばす。

2



深呼吸して、睡眠中に体内にたまった濁った気を吐き出す。

3



起き上がって、布団の上に正座する。

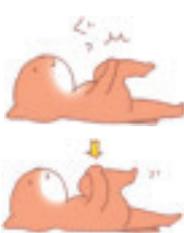
足の体操

1



太ももと膝をなで下ろす。

2



手を組んで、足三里のつぼ（膝頭の下）を抱え、足は前方に踏み出すように、手はおなか側に引く。左右とも何回か行ない、最後に左右の手で左右のすねとふくらはぎをなで下ろす。

4



両手の指を組み合わせたら裏返して前に突き出し、頭を上に向けて、そのまま頭上を持っていく。

新生「JAさっぽろ」誕生を祝う 合併式典を開催

10月2日（月）、JRタワーホテル日航札幌において、「JAさっぽろ・JAいしかり 合併式典」が開催されました。

当日は、ご来賓として、増田弘幸 石狩振興局長、秋元克広 札幌市長、加藤龍幸 石狩市長、樽井功 北海道農業協同組合中央会代表理事会長、連合会支所長らをお招きしたほか、組合員組織代表者やJA役員など98名が出席し、新生「JAさっぽろ」の門出を祝いました。

軽部幹夫 代表理事組合長は、冒頭の挨拶で「記念すべきこの日を迎えられるのは、組合員の皆さ



98名が出席した合併式典

ま、関係機関の皆さまのご理解とご協力の賜物であると感謝申し上げます。相互の人材と事業運営のノウハウを結集し、両地区の組合員の多様なニーズに応えられるように取り組んでまいります」と新生JAさっぽろとしての抱負を述べました。

ご臨席いただいた増田石狩振興局長からは「北海道・石狩管内を代表する農業協同組合として地域農業を力強く牽引していただくことを期待している」、秋元札幌市長からは「食の魅力向上、地産地消の推進といった地域の農業振興に対する相乗効果に札幌市として心強く感じている」、加藤石狩市長からは「合併によるスケールメリットの発揮によって経営基盤の強化と魅力ある地域づくりにつながることを確信している」とそれぞれ、新生JAさっぽろへの期待の言葉をいただきました。

式典の閉式にあたり、中村武史代表理事副組合長は、「わたしたちは笑顔をつなぐ虹の大樹でありたい」という新しい経営理念のもと、新生JAさっぽろの組合員と役員が想いをひとつにして地域農業の振興に取り組んでいく所存です」と、これから歩んでいく道のりへの決意を表しました。

引き続き開催された懇親会では、札幌産の玉ねぎやほうれん草、石狩産のブロッコリーや新米ゆめぴりかなど、両地区の農産物を使用したメニューが提供され、美味しい料理に舌鼓を打ちながら合併を祝い、盛会のうちに終了しました。

この度の合併に際し、多くの方々からご丁寧なるご祝意を賜りましたこと、改めてこの場をお借りして、厚く御礼申し上げます。



「組合員の願いを実現するJAづくりに取り組む」と決意を述べる中村副組合長



「両地域の農業の価値を送り届ける架け橋になる」と新生JAさっぽろの抱負を述べる軽部組合長



樽井JA北海道中央会代表理事会長（右）から合併推進特別奨励金の交付を受ける軽部組合長（左）

アラカルト

組合員さんの
活動を紹介します！



中央統括支店協同活動

交通事故の恐ろしさを改めて確認 組合員・職員が街頭で 交通安全の呼びかけ

8月29日（火）、中央統括支店では、組合員・職員合わせて32名が参加し、同店舗が入る共済ビル付近の街頭でドライバーや歩行者に交通安全を呼びかける啓発活動を実施しました。

街頭での活動の前には、北海道札幌方面中央警察署より警察官を講師に招き、交通安全講話も実施。身近で発生している死亡交通事故の事例などについて説明を受け、誰もが起こしうる交通事故の恐ろしさを改めて確認しました。

また、歩行者との主な事故パターンや自転車との危険予測を行い事故に巻き込まれないよう指導をいただきました。

街頭活動では、交通事故件数が多いと言われる夕暮れ時に、お揃いのジャンパーを着用し「交通安全」と書かれた旗を手に、車道を走る車や交差点を渡る歩行者に交通ルールの順守を呼びかけ。

渡守統括支店長は、「今後も組合員の方と連携して、交通安全の呼びかけをはじめ、地域に貢献できる活動を継続していききたいと思います。」と話していました。



お揃いのジャンパーで交通安全の呼びかけを行う組合員・職員

厚別統括支店協同活動

近くで見る牛に大興奮 牛と牛乳を学ぶ 食育授業



9月25日（月）、厚別統括支店では1統括支店1協同活動として、小林牧場と新札幌乳業（株）にご協力をいただき、信濃小学校3年生の児童66名を対象に、牧場見学と牛乳が出荷されるまでの流れを学ぶ食育授業を行いました。

小林牧場では、大きな搾乳牛や生まれたばかりの仔牛の他に牧場の様々な施設を小林智行さんに説明をいただきながら見学。

牧場の見学後には場所を厚別統括支店の3階会議室に移し、新札幌乳業（株）の中澤卓司さんと引地あけみさんにも参加いただき、生乳が牛乳となつて出荷さ



質問タイムで元気よく手を挙げる瞬間



搾乳機に興味津々

れるまでの工場の流れについてDVDを見ながら学習。

学習の後半には児童からの質問タイムが設けられ、児童からは酪農の仕事、牛乳の作り方など様々な質問が上がり、小林さん、中澤さん、引地さんに丁寧に回答いただきました。最後にカレーセットと小林牧場物語飲むヨーグルトが贈呈され、児童は笑顔で持ち帰りました。

この取り組みに小林さんは「酪農家がどのように日々取り組みながら牛乳を生産しているのかについて伝えられ、今日学習した児童が牛乳をたくさん飲んでくれたら嬉しい」と話していました。

たまねぎフェア2023 大盛況のうちに終了

9月23日(土・祝)、JAさっぽろ女性部、青年部では、サッポロさとらんどで開催された「たまねぎフェア2023」で女性部特製豚汁の販売と青年部員が生産した玉ねぎの詰め放題を行いました。

女性部のブースでは、昨年に引き続き札幌産農畜産物をふんだんに使用した豚汁を販売。札幌伝統野菜の札幌黄たまねぎ、札幌白ゴボウやじゃがいも、ニンジンなどお馴染みの具材の野菜は全て札幌産を使用し、最後に彩りとシャキシャキの食感を加えるため小松菜でアクセントを付けました。また、豚肉は南区豊滝の



青年部・女性部のみなさんとの集合写真

ブランド豚「古川ポーク」を使用した他、味噌は地産地消の取り組みに賛同したJA新はこだて女性部の手作り味噌を使用。

販売前から30名以上が列を連ねるなど大好評で、昨年の200杯を大きく上回る300杯を販売し、完売のお知らせの際には会場から拍手が上がりました。

青年部ブースでは、規格外品も含めた玉ねぎ(F1)の詰め放題を実施。2kgネットに40個以上も詰め込む来場客もいるなど、用意した約500kgの玉ねぎが約1時間で完売。

またこの日は、ラジオの生中継もあり約10分間、同女性部の菅原利恵部長と同青年部の大畑一郎部長が札幌近郊の農業をPRし、女性部・青年部が連携してたまねぎフェアを盛り上げました。



STVラジオの生中継の取材をうける大畑部長と菅原部長



青年部・女性部ブースはどちらも大行列

今年も美味しく出来ました。

札幌伝統野菜

「札幌黄」玉ねぎ 初出荷!

昨年より一週間ほど早い9月16日(土)、札幌市中央卸売市場へ札幌伝統野菜の一つ「札幌黄」玉ねぎが初出荷され、初セリでは10kg、1万円のご祝儀価格で競り落とされました。

春先の降雨や夏場の記録的な猛暑の影響もあり、出荷量は平年よりやや減少となる見込みです。

札幌黄は肉厚で柔らかく加熱するといっそう甘味を増すことから、根強いファンも多く、札幌黄を好んで使用する飲食店も多くあるほど。

この日は、玉葱部会澤田喜幸部会長・中村幸男副部会長・片岡智副部会長も参加。

玉葱部会の澤田喜幸部会長からは「あまり強く煮ないで食べた方が札幌黄本来の軟らかさを感じる」とおススメの食べ方を教えていただきました。

札幌黄は年内を目処に札幌近郊に出荷され、12月まで販売となります。



インタビューを受ける玉葱部会澤田喜幸部会長



(左から)玉葱部会片岡智副部会長 澤田喜幸部会長 中村幸男副部会長

JAさっぽろ青年部

青年部員と支部事務局が団結して
オータムフェストで地元野菜をPR！



お揃いのTシャツとエプロンでオータムフェストを盛り上げました

込めて生産した新鮮な農産物や加工品などを販売しました。

青年部員は、5日間交代で店頭に立ち、種類の違いやおススメの食べ方などを説明しながら札幌近郊の農業をPRしました。

同青年部大畑一郎部長は、「初めての取り組みとなりましたが、青年部員が一体感を持って取り組むことができ、来場者に青年部員が生産した農産物を届ける

ことができている良かった。来年もオータムフェストに参加して札幌や石狩の野菜をPRしていきたい」と話していました。

今年度のオータムフェストは、

23日間で過去最多の238万人が来場し、各会場は連日活気に溢れていました。



店頭には、朝採れレタスなど青年部員の新鮮な野菜が並びました

JAさっぽろ青年部で

は、9月に札幌市中央区大通公園を会場として開催された「さっぽろオータム

フェスト2023」のファーマーズマーケットに同月26

日から30日の5日間出店し、札幌黄たまねぎ、小松

菜、ほうれん草、空心菜、レタスなど青年部員が丹精

をこめて販売しました。

「JAさっぽろ朝市」開催

北札幌地区で秋の実りをおすすそわ

10月8日（日）、札幌市東区丘珠の玉

葱選果センターを会場に北札幌地区では4年振りとなる地域密着イベント「JA

さっぽろ朝市」が開催されました。当日は、地元の秋の実りを買求める来場者

で開場前から長蛇の列ができ、予定時刻よりも開場を早めてスタート。先着3000名様

にはJAさっぽろとJA いしかりとの合併を記念して石狩産の新米（3

合）がプレゼントされました。

青年部員・女性部員・生産者らが店頭立つ農産物の即売コーナーは開

場と同時に混雑を見せ、また、玉ねぎ・馬鈴薯・

人参の詰め放題コーナーは、順番待ちが出来るほどの大盛況。おぼけかぼ

ちやの重量当てクイズは家族連れにも人気で、終

始賑わいを見せた「朝市」となりました。「朝

市」となりました。「朝

市」となりました。「朝

市」を主催した甲賀剛 北札幌支店統括

支店長は「久しぶりの開催で準備に戸惑ったところもありましたが、青年部

員・女性部員・生産者の皆さんの協力もあり、沢山の方を迎い入れることができ

て良かった」と話していました。



「おぼけかぼちやの重量当てクイズ」は、子どもたちにも大人気



大混雑でも笑顔の対応 女性部北札幌支部の皆さん



天候にも恵まれ開場前から長蛇の列ができました



「SAPPORO PRIDE」を胸に 青年部北札幌支部の皆さん



札幌大長ナンバンの三升漬けと 小林牧場の乳製品が 冷製パスタとミルクプリンに

9月30日（土）、JAさつぽろ女性部による漬物講座や小林牧場の小林智行さん（厚別地区組合員）、札幌グランドホテル伊藤博之総料理長による食育授業（モアミルクプロジェクト）などで当JAと連携した取り組みを行なっている市立札幌みなみの杜高等支援学校で「みな杜マルシェ」が開催され、多くの来場者で賑わいました。

マルシェでは、同校キッチンコースの生徒たちが女性部から伝授された「札幌大長ナンバンの三升漬」を使用しピリツとした辛さがヨーグルトとマヨネーズのソースのまろやかさと相性抜群の冷製パスタ、伊藤総料理長との調理実習で学んだ小林牧場物語さわやか牛乳使用のいちごミルクプリンがお披露目販売され、1時間もたない内に完売になるほどの大人気となりました。

漬物講座の講師を務めた女性部員も「三升漬とヨーグルトが良く合うのは意外」、「いちごミルクプリンは、牛乳の濃厚な味わいが感じられる」「一緒に創り上げた伝統料理の三升漬けが新しい料理として多くの方に広がるのが嬉しいです。生徒の皆さんに感謝しています。」と生徒たちの頭張りや伝統食の新しい食べ方の発見に笑顔を見せていました。



小林牧場物語さわやか牛乳を使用した札幌グランドホテル総料理長直伝のいちごミルクプリン



漬物講座での三升漬けを使用した冷製パスタ

しのろとれたてっこ 生産者直売所大収穫祭

今年から篠路支店に隣接する篠路経済店に店舗を構えリニューアルオープンした「しのろとれたてっこ生産者直売所」では、10月7日（土）、地域の皆さまの日頃のご愛顧に感謝を込めて「大収穫祭」を開催しました。

午前10時の開店前から駐車場は満車となり、店舗内はレジを待つ長蛇の列ができるなど、地元の新鮮な農産物を買いたい求めるお客様で賑わいました。

店舗外に設けられた特設販売会場では、生産者も店頭立ち、種類の違いやおススメの食べ方などを来場者と会話しながら篠路地区特産のレタスやキャベツ、玉ねぎなどを販売。会場に設けられた「馬鈴薯」、「玉ねぎ」の地方発送コーナーを利用される方も多



生産者からおススメの食べ方や種類の違いを教えてもらえたり、詰め放題があるのも嬉しい大収穫祭

く、今年も大盛況の一日となりました。

同直売所運営協議会の鷲尾和義会長は、「年に一度の大収穫祭に地元の農産物を買いたい求めに地域の方々がたくさん来場してくれて嬉しい。」と話していました。



店舗内はレジを待つ長蛇の列

地域に根付いたイベント

きよたマルシェの軽トラ市で 地元の生産者が新鮮野菜を販売



生産者から美味しい食べ方を教わることもできる軽トラ市は大盛況

9月16日(土)、

清田区役所市民交流広場で開催された1日限りの食と音楽の祭典「きよたマルシェ&きよフェス」に清田地区の生産者7軒が丹精込めて育てた農産物を軽トラに積んで集結。猛暑による生育不良などの影響により農産物の価格も高騰している中、新鮮な農産物がお手頃な価格で購入できるとあって、この日を楽しみにしていた来場者は、10時の販売開始前からお目当ての農産物を販売する生産者のブース前に列を作り、地元の農産物をたくさん買い求めています。

軽トラ市に出店した川瀬俊昭さんは「私の顔を覚えてくれているお客さんが増えて、この軽トラ市が地域に根付いてきているように感じます。」と話していました。



消費者の声を直接聴くことができるのも魅力です

青年部篠路支部

「SAPPOROPRIDE」

を胸に刻み

青年部員が地元の農産物を販売

9月16日(土)、北区百合が原公園で開催された「ぽっぴいフェスティバル2023」に青年部篠路支部(武田慈喜支部長)が出店し、「SAPPOROPRIDE」と胸に刻まれた揃いのTシャツに身を包んだ5名の青年部員が札幌黄玉ねぎ、レタス、トウモロコシ等、部員たちが丹精込めて育てた地元の農産物を販売しました。

当日は天候にも恵まれ、イベント会場は、昨年を上回る延べ14,000人が来場。青年部ブースも開場直後から賑わいを見せ、朝採りのトウモロコシは瞬く間に完売となりましたが、持ち前のフットワークで追加対応。新鮮なトウモロコシを購入できた来場者は笑顔を見せていました。武田支部長は「思った以上の賑わいで驚いたが、多くの方に喜んでもらえて良かった。来年も出店したい。」と話していました。(飯澤特派員)



開場直後から賑わいを見せる青年部ブース



追加で取り寄せたトウモロコシも、直ぐに完売となりました。

資産管理部会白石支部・青色申告会白石支部

笑顔いっぱい

4年ぶりの研修旅行

9月7日(木)、資産管理部会白石支部(佐藤昌幸支部長)・青色申告会白石支部(稲垣政博支部長)では、会員21名と職員2名が参加し合同研修旅行を実施しました。エスコンフィールドHOKKAIDOでのスタジアム見学ツアーで新球場を存分に体感し、道の駅花ロードえにわでお買い物も満喫、最後に小林酒造の酒蔵を見学しました。途中外国人の方がバスに乗り込むハプニングもありましたがそれも旅の良い思い出。行程総歩数約8000歩。参加された皆様大変お疲れ様でした！(津村特派員)



資産管理部会白石支部と青色申告会白石支部の皆さん

北広島・千歳方面へ 充実の日帰り研修

9月21日(木)、女性部厚別支部(小林徳子支部長)では部員15名と職員2名が参加し、エスコンフィールドのスタジアムツアーと千歳方面への日帰り研修旅行を実施しました。

エスコンフィールドのスタジアムツアーでは、普段見ることのできない場所を見ることができ、ツアーならではの貴重な体験ができました。恵庭で昼食の釜めしを堪能した後に、千歳でキッコーマンの工場見学を行いました。1日の締めくくりは江別にある小林牧場おかしなソフトクリーム工房。おいしいソフトクリームとお土産にチーズなどの乳製品を購入しました。小林支部長は「昨年に引き続き研修旅行を実施できたことを嬉しく思います。部員の皆さまのご協力もあり、笑顔あふれる楽しい時間を過ごすことができました」と話し、充実の研修旅行となりました。

(北林特派員)



昼食は豪華な釜めしを堪能



屋根がオープンしたエスコンフィールド北海道での集合写真

美味しいランチとサーカス 大満足の日帰り研修

10月3日(火)、女性部新琴似支部(菅原利恵支部長)では部員7名と職員3名が参加し、札幌市内の日帰り研修旅行を実施しました。今回は赤レンガテラス2階の「鶴雅ビュッフェダイニング札幌」で昼食を堪能し、お腹が満たされた後、6年振りに札幌公演を開催した木下大サーカスを鑑賞しました。アクロバティックな演出や名物「奇跡のホワイトライオン」の猛獣ショーやイリュージョンショーなど、時折コミカルな演出があり部員の皆さんはあつという間の楽しい2時間半を過ごしました。菅原支部長は「赤レンガテラスでの昼食とサーカス観覧は、久しぶりにワクワクドキドキ♡やっとなコロナ禍から解放されたことが実感出来ました。」と話していました。

(山崎特派員)



木下大サーカスの会場前での集合写真

北陸方面へ2泊3日の 道外視察研修

9月27日(水)～29日(金)、資産管理部会北札幌支部(橋場武夫支部長)・女性部北札幌支部(土谷眞理子支部長)では初めてとなる両部会合わせて11名と事務局2名の参加による、道外視察研修旅行を実施しました。

初日は丘珠空港から名古屋小牧空港まで向かい、石川県の金沢21世紀美術館へ。その後金沢市内で夕食に加賀料理を堪能。2日目は兼六園を散策予定でしたが、あいにくの雨により観光物産館にてお土産購入。その後、雨も止み、絶景広がる白川郷にて散策した後、飛騨牛に舌鼓。その後はミシュランが認めた風情ある高山上三之町を散策し、夜は飛騨高山温泉にて心身リフレッシュ。

最終日は日本三大朝市の高山陣屋にて買い物、郡上八幡博覧館にて郡上踊りの歴史を学び、最後は関刃物ミュージアムにて出刃包丁などを購入。多くの歴史ある場所を観光し、両手に抱えきれないほどのお土産を手にし帰路につきました。(池田特派員)



白川郷にて撮った集合写真

チ・カ・ホを彩る農業の四季 札幌市との共催で写真展を開催



四季ごとに展示された140枚を超えるパネル写真の数々

JAさっぽろは、10月4日（水）、札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）で札幌市との共催による「都市の中心から農業を伝える写真展・紡ぐ」を初開催しました。

当JA広報誌等の撮影に協力いただいたという写真フォトグラファー曾我孝博さんが映し出す25名の生産者の140枚以上の写真パネルを地下歩行空間（チ・カ・ホ）に展示。

急ぎ足で行き交う歩行者も足を止め、色鮮やかな農業の世界に魅入っていました。

写真を見ていた方からも「札幌にこんなにも多くの農畜産物や生産者がいるとは知りませんでした。写真から伝わる真摯な姿や多くの手作業を見て心が豊かになりました」など多くの温かいメッセージをいただき、1日限定の写真展は大盛況となりました。



色鮮やかな写真パネルに魅入る歩行者

JAさっぽろ青年部×奥芝商店

「これこそ札幌のスープカレー s apporo pride」の試食会を行いました。

JAさっぽろ青年部では、10月13日（金）に青年部本部役員と生産者、ご家族を含む14名が参加してJAさっぽろ青年部と奥芝商店駅前創成寺店とのブランディングによる新商品「これこそ札幌のスープカレー s apporo pride」の試食会を行いました。

新商品は、青年部の農畜産物を多くの方に食べてもらいたいという想いを人気スープカレー専門店奥芝商店に相談したことをきっかけに誕生。



JAさっぽろ青年部と生産者、奥芝商店の皆さん

新商品
これこそ札幌のスープカレー
sapporo pride



10月16日（月）から31日（火）までの期間限定商品で、札幌黄や小松菜、春菊、ミニトマト、男爵などの野菜の他に古川ポークのソーセージとベーコン、小林牧場のバターなど札幌近郊の農畜産物を贅沢に使用した一品。

試食会に参加した部員は、奥芝商店のエビだしスープと札幌黄と春菊のかき揚げや小松菜のシャキシャキ感など野菜の素材を活かした一品にお腹も心も満たされ笑顔が溢れていました。

大畑一郎部長は「生産者として札幌近郊の野菜をふんだんに使っていただけけることに感動しています。商品開発や販売にあたりご協力いただいた奥芝商店の皆さんに感謝しています。」と話していました。

2023年産 新米販売開始！ 新米フェアを開催！！

10月7日（土）～9日（月・祝）、新米フェアを「とれのさと石狩店」で開催しました。

当日は入荷した新米2種【ななつぼし（精米・無洗米）】をぎっしりと店頭に並べ、それに呼応するかのように新米を待ちわびたお客様も開店前からびっしりと並び行列を作っていました。毎年非常に多くのお客様に来店いただくイベントのため、他部門の職員が応援にきてくれ、従業員一丸となって対応しました。

お客様からは「毎年新米販売のタイミングに合わせて1週間前から米を購入するのが我慢している」、「今日はお腹いっぱい新米を食べるよ」という声もいただき、毎年実りの秋を堪能していただける喜びを噛みしめながらスタッフも新米フェアを運営しています。食欲の秋とも言われますが、冬に向けて美味しい食材がたくさん出荷される時期となり、地元石狩の生産者が丹精を込めて育てた新米を多くの食卓にお届けできたのではないのでしょうか。



開店前の様子

今年は市場全体の販売価格が上がる中で「とれのさと」では上げ幅を抑え、更には「8」の付く日の8日、18日、28日はお米の日として特価販売するなど購入しやすい価格設定にしています。一人でも多くの皆さんにご賞味いただけるよう今後もPRに力を入れてまいります。

（須田特派員）



今年もおいしいお米ができました

ハーベストホンダ inアセスサツポロ開催☆

10月7日（土）～9日（月・祝）、アセスサツポロでハーベストホンダのイベントが開催されました。ホンダカーズ、株式会社ニトリパブリックとのコラボイベントでホンダの新車50台、中古車130台が会場内から会場外まで見事にレイアウトされ、大変多くの人で賑わいました。

例年は自動車販売がメインのイベントでしたが、来場者に更に楽しんでいた空間を目指し、今年では会場内で飲食ブースや販売ブースが設けられ、その一角で当JAの新米や農作物販売とPRを行ないました。また販売ブースに展示されていたホンダの新車1台に「車内のス



新車を農産物でデコレーション

ペースへ新米や野菜などを自由にレイアウトしてほしい」と主催側から依頼があり、初めての経験

に困惑しながらもピカピカの車内に慎重に陳列して販売しました。

イベント開始と同時に野菜目当てのお客様も多く入場し産地直送の農産物が好評で、3日目の最終日には「3日連続で野菜を買いに来たよ。近所のスーパーよりもここで買った方が安くて新鮮だよ。」とのお客様からの声が複数ありました。また、自動車の営業マンが「新車購入前に野菜が売り切れるから」と契約を後回しにして接客中のお客様を販売ブースへ連れてくることもあるほどに大人気のブースとなりました。

（木村特派員）



新鮮野菜が一番人気でした

経済部・営農販売部 営業体制のご案内

経済部・営農販売部の営業体制につきまして、下記のとおりご案内いたします。

冬期間は、休業日が多くなり組合員の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

経 済 部	購買課（丘珠）	【11月～2月】 〔平日〕9：00～17：00 〔土曜日〕休業	【3月～10月】 〔平日〕9：00～17：00 〔土曜日〕9：00～12：00
	丘珠資材センター		
	南経済店	【11月～2月】 〔平日〕9：00～16：00 〔土曜日〕休業	【3月～10月】 〔平日〕9：00～16：00 〔土曜日〕9：00～12：00
	手稲経済店		
	清田経済店		
	篠路経済店		
	石狩経済店	【10月～3月】 〔平日〕9：00～16：30 〔土曜日〕休業 * 12月～2月は、水曜日・土曜日休業	【4月～9月】 〔平日〕9：00～16：30 〔土曜日〕9：00～12：00 〔祝日〕9：00～12：00
	とれのさと石狩店	【1月～3月】 10：00～15：00 * 水曜日は休業	【4月～12月】 9：30～17：00 * 定休日なし
	花畔 SS	7：00～20：00 * 1月1日は休業	
	八幡 SS	8：00～18：30 * 1月1日～3日は休業	
配送課（丘珠）	【11月～2月】 〔平日〕9：00～17：00 〔土曜日〕休業	【3月～10月】 〔平日〕9：00～17：00 〔土曜日〕9：00～12：00	
営 農 販 売 部	販売課（丘珠）	【11月～2月】 〔平日〕9：00～17：00 〔土曜日〕休業	【3月～10月】 〔平日〕9：00～17：00 〔土曜日〕9：00～12：00
	米麦課（八幡）	〔平日〕8：30～17：00 〔土曜日〕休業	* 米麦乾燥調製施設の稼働期間（7月～11月）は、施設運営計画並びに施設の稼働状況に応じてご案内します。
	青果課（八幡）	【12月～6月】 〔平日〕8：30～16：00 〔土曜日〕休業 * 12月～5月は、水曜日・土曜日休業	【7月～11月】 〔平日〕8：30～18：00 〔土曜日〕8：30～18：00 * ベジタブルファクトリーの稼働は各共撰作物の施設運営計画並びに稼働状況に応じてご案内します。
	直販課（八幡）	〔平日〕9：00～17：00	
	営農課（八幡）	〔土曜日〕休業	
	営農課（丘珠）	【11月～2月】 〔平日〕9：00～17：00 〔土曜日〕休業	【3月～10月】 〔平日〕9：00～17：00 〔土曜日〕9：00～12：00
営農渉外課（丘珠）			

肥料価格高騰に係る補助事業のご案内 北海道補助事業『肥料価格高騰緊急対策事業』

日頃より当組合をご用命賜り心よりお礼申し上げます。

標記の件につきまして、名称変更となりましたが昨年も実施いたしました道事業の『肥料価格高騰緊急対策事業』が計画されております。まずは申請期日が示されておりますので、下記の受付日にお越しいただきますようお願い申し上げます。

記

【事業概要・申請方法】 JA・肥料販売業者を申請団体とし、支援金申請を行いません。

対象肥料：令和5年6月1日～令和5年12月31日に発注され、
令和6年5月31日までに納品される化学肥料（単肥・化学肥料が主）

対象者：上記期間に肥料を1トン以上購入した農業者（例：20kg袋は50袋以上）
※1トン未満の方は対象になりません

補助金：3,125円/t（上限・1トン未満は切り捨て）

申請受付日：下記のとおり、**経済店舗等にて10時～15時** 受付いたします。

- ① 12/4（月）南経済店 ② 12/5（火）篠路経済店 ③ 12/6（水）清田経済店
- ④ 12/7（木）丘珠資材センター ※予備日12/8（金） ⑤ 12/8（金）手稲経済店
- ⑥ 12/11（月）～12（火）営農課（八幡）※予備日12/13（水）

受付日に来店されない場合は、恐縮ですが申請が無いものいたしますのでご留意願います。

《来店時にご持参いただく書類》**受付用紙**をご用意いたします

- (1) 振込先口座の通帳又はキャッシュカードの写し
- (2) 肥料購入伝票（令和5年6月1日～本事業申請日まで購入分）

※JAで購入いただいた分はJAで伝票を用意いたします。JA以外で購入した肥料伝票をご用意ください。

※JA以外の肥料販売会社で購入した肥料は、購入先販売業者からの申請も可能です。

※JA以外の販売業者で申請する場合、本人確認書類（運転免許証、マイナンバーカード等。法人の場合は登記簿謄本）が必要です。

※日付、肥料名、メーカー、規格（重さ）、購入者氏名、発行者が記載されている伝票・領収書が必要です。

※ご持参いただいた肥料購入伝票全ての銘柄が補助金の対象となるわけではありません。

内容についてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

JAさっぽろ 営農販売部／営農課（丘珠）011-782-8130／営農課（八幡）0133-66-3344

肥料価格高騰緊急対策事業の ごあんない

肥料価格の高騰による農業経営への影響を緩和するため、
北海道の『肥料価格高騰緊急対策事業』により農業者の
皆さまの肥料費の負担を軽減します



購入した化学肥料の数量について、
1トンあたり3,125円（上限）の支援金を給付します
※申請額が予算を超えた場合は、支援金の単価を調整します



北海道内で農業を営む個人又は法人、農業者が出資
主体のコントラクター組織、作業受託会社等



令和5（2023）年6月1日から令和5（2023）年12月31日
までの間に**発注**され、令和6（2024）年5月31日までに
納品される化学肥料

正組合員のみなさまへ

しのろとれたてって事業で昨年まで使用しておりました直売所建物施設（プレハブ）を、正組合員の方へ無償で譲渡いたしますので、ご希望の方は、下記に記載の担当部署（本店総務部総務課）宛お申し込みください。

なお、お申込者が多数の場合は厳正に抽選し、令和5年12月8日（金）までに当選者のみに通知させていただきます。

建物の概要等につきましては、以下のとおりですので、ご確認をいただいたうえでお申し込みください。

- 所在地／札幌市北区篠路3条10丁目1-1 ※篠路支店駐車場内
- 新築年月／平成16年3月 面積：69.39㎡（約20坪）
- 構造／プレハブ（軽量鉄骨造）※エアコン設備あり
- 申込期日／令和5年11月30日（木）
- 建物引取期日／令和5年12月29日（金）までに撤去（※基礎部分を除く）
- 撤去費用／譲受人の組合員の方にご負担いただきます



【事前に建物をご覧いただく場合やお申し込みに関するお問い合わせ先】
 JAさっぽろ本店総務部総務課 TEL (011) 621-1311
 平日午前9時～午後5時の間にご連絡ください

渉外・営農渉外担当者の 相談事業育成研修を実施

去る9月7日（木）8日（金）、渉外担当者と営農渉外担当者10名の職員が参加し、相談事業育成研修を実施しました。この研修では、組合員の皆さまが普段から抱える様々な「困りごと」に対して各担当者の対応力、提案力の習得と向上を目的とし、多くの方が心配される相続対策や資産運用、不動産の諸問題について、会話の中から各種の情報を収集する力とその諸問題を解決に導く知識の習得を目指しました。

今年で4回目の実施となる今回の研修では、相談部職員による座学研修と相談事業提案物件の現地視察を行ない、座学では、相続について例題を用いて具体的な仕組の確認や物件管理、建設や解体、農地法、インボイス制度の研修を、現地視察では、困りごと相談から事業完成までの経過についての説明を受け、参加した職員は新たに見識を広げたと感じられます。

当JAでは、組合員との「対話」に重点を置きながら、組合員の皆さまの資産状況、価値、相続対策などに寄り添ったご提案をしていく他、地域・時代ニーズに即した土地の有効活用をよろずサポーターと渉外担当者が連携を図り実践してまいります。



店内を華やかにしてくれる♡♡ お化けかぼちゃは来店客にも大人気

琴似支店では、昨年より琴似地区の組合員さんのご厚意によりお化けかぼちゃを展示しています。窓口に来店されるお客様から驚かれるほどの大きなかぼちゃでハロウィンシーズンに彩りを与えていただいています。現物をご覧になりたい方は是非琴似支店でお待ちしております。



理事会だより

第6回定例理事会
 令和5年9月28日（木）午後1時00分より本店役員会議室において第6回定例理事会が開催された。

●協議事項

1、JAいしかりとの合併に伴う関係諸規程類の一部改正について
 令和5年10月1日のJAいしかりとの合併に伴う所要の改正である旨

が説明され、可決決定。

2、篠路駅東側倉庫群解体工事（第1期）に係る入札執行について

札幌市篠路駅東口土地区画整理事業に伴う工事であり、入札までの日程、入札要項、工事場所等の詳細が説明され、可決決定。

3、令和5年度燃料手当の支給について

支給基準単価及び支給額等の内容が説明され、協議後、可決決定。

4、令和5年度余剰金運用に係る余剰金等運用計画額および運用方針の一部変更について

市場金利の上昇基調を踏まえ、会計ルールにおいて時価評価並びに含み損益の貸借対照表への計上が求められる「その他保有目的」の取得を減額し、同額を時価評価対象外の「満期保有目的」に振り替える変更案が説明され、可決決定。

●報告事項

1、みのり監査法人 期中監査1結果概要報告

2、『准組合員コンベンション2023』の開催について

3、「リスク評価書」の定期見直しについて

4、特別債権等の処理状況報告

5、重要管理債権経営状況等報告

6、令和5年度第3四半期余剰金等運用計画額及び運用方針について

7、令和6年度予約購買奨励金・肥料引取奨励金について

8、8月末財務状況報告

9、8月末組合員加入・脱退状況報告及び未済持分譲渡報告

10、9月の動静と10月の予定について

11、JAいしかりとの合併認可について

12、JAいしかりの決算状況について

（閉会・午後3時15分）
第2回臨時理事会

令和5年10月2日（月）午前9時30分より本店役員会議室において第2回臨時理事会が開催された。

●監事会報告事項

1、代表監事および常勤監事の決定について

2、合併により就任した監事の令和5年10月から令和6年6月までの各監事の報酬額の決定について

●協議事項

1、組合長、副組合長、専務、常務の決定について

第25回通常総代会において合併契約書に基づき役員に選任された（新）

理事者も含めた協議により、組合長に軽部幹夫氏（第9選任区 豊平地区）、副組合長に須合経一氏（第7選任区 厚別地区）、中村武史氏（第13選任区 石狩地区）を、専務理事には丸岡晃氏（学識経験者）、常務理事には水嶋仁光氏（学識経験者）、氏家暢氏（学識経験者）が提案され、可決決定。

2、代表理事決定について

代表理事は、組織代表者である軽部幹夫氏と須合経一氏、中村武史氏の3名としたい旨が説明され、可決決定。

3、専務理事および常務理事の担当の決定について

専務理事の所轄部署は内部監査室・経営企画部・総務部・融資審査部・相談部、常務理事の内、水嶋理事の所轄部署は金融部・共済部・本店営業部、氏家理事の所轄部署は経済部・営農販売部とすることが提案され、可決決定。

4、組合長職務代理順位並びに理事会招集代理順位について

定款第35条第4～6項の規定による組合長職務代理順位について、須合代表理事副組合長、中村代表理事副組合長、丸岡専務理事、水嶋常務

理事、氏家常務理事の順とすると、及び定款第56条第2項の規定による理事会招集順位についても須合代表理事副組合長、中村代表理事副組合長、丸岡専務理事、水嶋常務理事、氏家常務理事の順とすることが提案され、可決決定。

5、常務理事の就任に係る事務引継ぎの立会人の指名について

経済担当常務が決定したことから、専務理事が担当している経済部門にかかる職制内容の変更に伴う事務引継ぎの立会人として、水嶋常務理事を指名したい旨が説明され、可決決定。

6、合併により就任した理事の令和5年10月から令和6年6月までの各理事の報酬額の決定について

総代会で決定した令和5年7月から翌年6月までの理事報酬総額に基づく個別理事報酬（案）が説明され、可決決定。

7、石狩地区総代選挙に伴う諸事務手続き日程（案）について

合併契約書に基づく石狩地区の新総代にかかる選出について、選挙日を令和5年11月13日に予定している事、及び新総代就任までの諸事務手続きの日程について説明され、可決決定。

8、石狩地区総代選挙に伴う投票・開票管理
者並びに投票・開票立
会人の選任について

令和5年11月13日を選挙日とする
石狩地区の総代選挙にかかる各管理
者並びに各立会人が説明され、可決
決定。

9、役員賠償責任保険の中途更改契
約と保険料の一部負担について

役員賠償責任保険の概要、合併に
伴い役員数に変更になったことによ
り契約を更改する旨、及び各役員が
分担する代表訴訟特約保険料が説明
され、可決決定。

(閉会・午前10時15分)

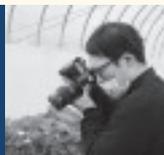
		令和5年9月末業務実績	令和5年8月末業務実績	
JAさっぽろ DATA	組合員数	正組合員	3,429名	3,435名
		准組合員	31,522名	31,605名
	合 計		34,951名	35,040名
	出資金残高		66億9千万円	66億7千万円
	販売取扱高		9億2千3百万円	6億7千6百万円
	購買供給高		4億9千4百万円	4億2千4百万円
	貯金残高		3,477億5千4百万円	3,472億7千9百万円
	融資残高		925億1千4百万円	924億2千8百万円
	共済保有高		5,907億1千6百万円	5,913億2千6百万円
	施設建設取扱高		1億9千9百万円	9千8百万円
管理受託戸数		4,646戸	4,609戸	

Column
My best shot



太陽に照らされた実りが、大地の恵みをもらい力強く天に向かって成長していく様が、この写真だけでよくわかるお気に入りの写真です。

Photo by 曾我 孝博
2020年からフリーランスの
フォトグラファーとして主に札幌
市内で活動。今年度も引き
続き「虹の大樹」表紙と巻頭
写真の撮影を担当します。



お知らせ

次号は12月・1月統
合版として、虹の大樹
「新春号」を12月末
に発行します。

